

# 常任委員会の審査から

## 財政総務

一般会計補正予算(所管分)などを審査しました。主な質疑項目と委員から出された意見の概要をお伝えします。

一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)

### ＜主な質疑項目＞

三二市場公募債発行事業について  
発行目的及び市民の行政への

## 建設

下水道条例の一部改正及び一般会計補正予算(所管分)などを審査しました。主な質疑項目と委員から出された意見の概要をお伝えします。

下水道条例の一部改正(賛成多数で承認)

### ＜主な質疑項目＞



市内で行われている下水道工事

市内で行われている下水道工事から29・02%としたのと修正の申出とともに、今後、一層経費の削減を行い、効率的な維持管理に努め、未整備地域の水洗化並びに浸水対策、合流式下水道の改善等の課題についても解消



現在、消防本部を有する南消防署

参加意識の高揚が図られるような充てが事業の選定  
財政全体を見通した資金調達コストの精査と資金の流動性の確保  
購入した個人、法人等が破産し、債券が市場に出回った際の対応  
公募による愛称の決定  
＜意見の概要＞  
1 三二市場公募債に関して市はその財源を消防本部西消防署合同庁舎建設事業や味吉水路整備事業に充当する予定で

あるが、来年度からは市長の実施したい事業に市民参加してもらおうという方向で財源を割り当てられたい。このままでは起債の発行が前提で、後からの事業に割りあててくるかを考えたよう

にしか見えない。来年度はもう少し発行方法を精査されたい。  
2 三二市場公募債については、市民参加型ということを強調したとしても、充てが対象事業については意見が分かれ、市民

全員が参加できるというものではない。財政運用ということを強調しても、手続等の諸経費がかかるなど余り効率的な感じが見受けられない。債権が市場に出回り、様々な問題が起きるという点も想定されたい。次回提案をする際には、その位置付けや意義などの問題について説明責任をきちんと果たすよう強く要望する。  
3 三二市場公募債については、吹田市民さわやか債という愛称が付いているが、今後の発行の際には市民から愛称を公募し、多くの方が関心を持てるよう努められたい。さらに購入限度を10万円程度にとどめ、広く市民の方が購入できるように努め

られた。  
4 「見える、わかる、参加できる」、そして「大きな目標」と「さわやかな夢」を市民と共有しながら取り組んでいくという市長の理念については評価するが、それに基づいた行政運用とはなっていない。  
三二市場公募債についても、市民が納得できるものとなるよう、民主的な判断を求めその上で事業の決定、推進を図らなければならぬ。当初予算があるにもかかわらず、いきなりこのような方策で財源を確保しようとしているが、今後は当初予算でしっかりと方向を示し、議会の審議を経てから充てが対象事業を選考するよう強く要望する。

すべく事業を推進していきたいとの答弁があり、委員会はこの原案修正を承認しました。

### ＜賛成意見の概要＞

人件費の抜本的改革  
アウトソーシング(業務委託)による経費削減  
一般会計からの繰入金金の割合とその減額理由  
資本費を雨水処理と汚水処理に区分する方法  
なお、審査の過程において、委員から、使用料改定率の引下げと経費削減等の経営努力をすべきではないかという強い指摘があり、理事者から、平均改定率を32・14%から29・02%としたのと修正の申出とともに、今後、一層経費の削減を行い、効率的な維持管理に努め、未整備地域の水洗化並びに浸水対策、合流式下水道の改善等の課題についても解消

1 原案修正された案でも市民に与える影響は大きいと考える。しかし、今年度末では累積赤字が約8億円にもなり、深刻な財政状況になっている中で、やむを得ないと考える。今後、人員削減も含め、最大限の経費削減に努力するよう強く要望する。  
2 まず、本市独自の下水道システムの抜本的な改革に着手することを強く要望する。  
次に、下水道事業に企業経営の感覚を早急に導入されたい。雨水、汚水処理費を明確にし、経営合理化を徹底して、市民への負担を軽減できる仕組みに早急に着手することを強く要望する。

たことによるものである。不要不急の建設事業を精査し直し、繰入金削減を元に戻すべきである。  
汚泥処理施設の整備を、100%汚水経費として扱うなど、汚水処理原価の計算の仕方自体にも問題がある。また、原価算定の基礎となる資本費削減の努力も弱いと言わざるを得ない。管渠築造費については、国は補助率を引き下げておきながら、一般会計からの繰入金削減を指示するとうる理不尽な対応をしている。補助率の引上げを行うよう強く改善を求めていくべきである。また、下水道事業債について、低利への借換え要望を強めていくと同時に、この利子返済部分だけでも一般会計からの繰入金を復活させるべきである。以上、市民負担増ではない赤字解消の努力が不足していることを指摘し、本議案に反対する。

一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)



整備が進む紫金山公園

### ＜反対意見の概要＞

下水道特別会計の赤字は、第一に、財政健全化の名の下に、一般会計からの繰入金を削減し

### ＜主な質疑項目＞

市営岸部中住宅建替工事の進捗状況  
ボケットパークの名称と位置付け  
阪急豊津駅前自転車駐車場の管理方法及び当初計画を変更した理由  
紫金山公園整備における今後の計画

### ＜意見の概要＞

公園の整備を行うにあたり、財政面も考慮し、ごみの減量につながる公園づくりという観点で整備を進められたい。

## 福祉環境

一般会計補正予算(所管分)を審査しました。主な質疑項目をお伝えします。

### ＜主な質疑項目＞



一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)  
障害者支援事業費及び障害者支援支給費を補正しようとする理由と積算根拠  
市民がより利用しやすいような障害者ガイドヘルプサービス事業のあり方  
生活保護費の増額補正の内容と支給対象者が増加したことに伴う本市の態勢  
平成14年(2002年)度児童手当事務費交付金の返還金が生じた理由

## 代表質問・個人質問について

### 質問方法

- (1) 毎定例会において代表質問及び個人質問を行います。
- (2) 代表質問・個人質問ともに一般質問、議案質疑を一括して行います。

### 質問人数

- (1) 代表質問は1会派1人
- (2) 個人質問は1会派3人までできます。
- (3) 代表質問をした議員は、重複して個人質問はできません。

### 質問時間(答弁時間は含みません)

- (1) 代表質問は、35分+(会派構成人数×5分)以内、[最大60分]
- (2) 個人質問は、10分+(会派構成人数×5分)を会派に割り当てます。その割り当て時間は、次のとおりです。

会派(構成人数)	代表質問	個人質問
日本共産党(8人)	60分	50分
公明党(7人)	60分	45分
民主市民連合(7人)	60分	45分
自由民主党(5人)	60分	35分
市民リベラル(4人)	55分	30分
市民ネットワーク(3人)	50分	25分

- (3) 個人質問は、1人20分以内
- (4) 1人会派の議員及び会派に所属しない議員は代表質問はできませんが、20分以内で個人質問ができます。

### 質問回数

1人3回以内